

日本生協連、コープ商品の米の新パッケージで環境対応を拡大し 全 67 品で石油由来プラスチック削減を実施 ～11 月より 2kg 規格の薄膜化と植物由来ポリエチレン包材への切り替えを実施～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：新井ちとせ）は、コープ商品の米のパッケージを刷新し、植物由来ポリエチレンを使用した環境配慮包材への切り替えおよびフィルムの薄膜化を 2026 年 11 月より順次実施します。対象商品はコープデリ生活協同組合連合会加盟の各生協、生活協同組合ユーコープ、生活協同組合連合会コープきんき事業連合加盟の各生協で販売します。



対象商品（一部）

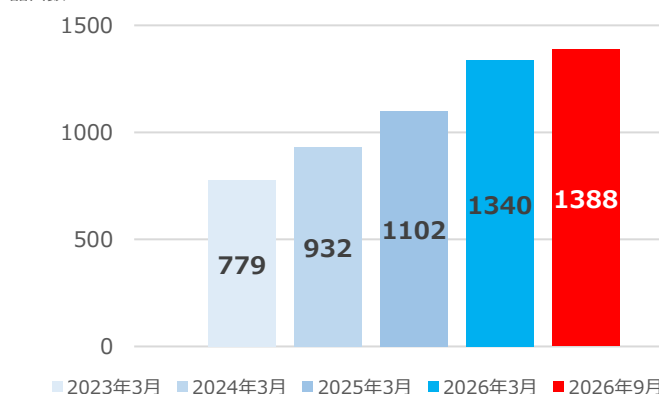
2025 年度に実施した 34 品目の植物由来ポリエチレン化に続く第 2 弾として、11 月以降、対象商品を 41 商品（5kg 22 品目、2kg 19 品目）へと拡大し、植物由来ポリエチレンを使用した米袋に切り替えます。加えて、2kg 商品のパッケージの薄膜化を実施します。2021 年度に実施した 5kg 商品の薄膜化に続き、今回は 2kg 商品の既存全商品（計 45 品目）の厚みを 80μm（マイクロメートル）から 70μm へと薄くすることで、プラスチック使用量を削減します。

昨年度の第 1 弾では、供給点数の多い 5kg 商品を中心に取り組んだことで年間約 37 トンの削減を実現しました。今年度は、供給点数が比較的少ない商品にも環境配慮の取り組みを広げ、対象商品を拡大しています。この取り組みにより、植物由来ポリエチレンへの切り替えで年間 7.9 トン、2kg 規格品の薄膜化により年間 1.5 トン、合計で年間約 9.4 トンの石油由来プラスチック使用量が削減される見込みです。今年度は対象商品を大きく拡大し、継続的な環境負荷の低減を推進してまいります。

コープ商品の米袋は、これまでフィルムの厚みを薄くする取り組みを継続してきました。5kg の米袋の厚みについては、2011 年に 100μm の商品を 90μm へ統一。その後も 85μm、80μm と厚みを薄くすることでプラスチック使用量を削減してきました。今回、2kg 商品の薄膜化や、袋の 25% に植物由来ポリエチレンを使用することで、石油由来プラスチック使用量を削減するとともに、CO₂ の排出抑制にも貢献します。

日本生協連は、「コープ商品の 2030 年目標」において、再生プラスチックと植物由来プラスチックの使用率を 50% 以上とすることを掲げています。これらを使用したコープ商品は、2026 年 9 月時点で 1,388 品目となり、右肩上がり増加しています。持続可能な生産と消費のために、引き続き環境に配慮した商品の開発、普及に取り組んでまいります。

再生・植物由来プラスチック使用商品の推移



＜お問い合わせ先＞
日本生協連広報部
TEL：03-5778-8106